

東陽中だより

教育目標 ～明日を拓く～

・豊かな心・活きた知性・たくましい体

発行責任者 小野寺 憲治

文 責 佐々木 正道

発行日 平成28年5月31日

行事を通して成長を…

校長 小野寺 憲治

学校は多くの学校行事を行っています。その目的は、行事によってやや異なるものもありますが集団生活を通してルールやマナーを学びそれらを守って行動する、与えられた責任を果たす、良好な人間関係を作ることなどです。

先日、3年生が実施した3泊4日の道南方面への修学旅行は、①道南方面の自然や文化、歴史などを見聞する。②学校ではできない研修活動を通して友人や教師とのふれあいを深める。③実行委員会や係活動など、役割を自覚し、自主的・協力的に学習する。④集団生活を通して規律やマナーを学び、自律的な生活態度を身につける。というように、4つのねらいをもって実施しました。

一部、生徒の活動を紹介しますと、まず始めに学級から選出された生徒による実行委員会、係活動が組織され全員がどこかに所属し、責任を分担し活動計画を練ります。

いよいよ当日です。8日、出発式は生憎の雨で体育館で行いました。その後バスに乗り込み移動開始。暫くすると、しおり・レク係によるバスレクが行われました。途中、長万部でかに飯の昼食をとりました。多くの生徒は、かに飯に満足そうでした。函館に着き、最初の見学地五稜郭公園では、集合写真を撮る学級とタワーに登る学級とに別れて移動を開始しました。タワーからは、五稜郭ゆえんの星の形がはっきりと確認できました。箱館戦争当時の建物を復元した箱館奉行所も見学しました。公園内を歩いた移動ではいつも整然と列をなし、しっかりとした集団での移動ができていました。それから夕食は、洋食レストランでお馴染みの五島軒でナイフとフォークを使ってハンバーグをいただきました。その後、函館山にロープウェイで登り夜景見学と記念撮影。素晴らしい夜景が眼下に広がり生徒たちは大変満足そうでした。山麓の売店は、観光客で大混雑していましたが、おみやげを何とか購入したようです。その後、ホテルに到着です。これが一日の大まかなスケジュールです。この後は、旅行計画に沿って進められたわけです。2日目以降は紙面の関係で省略します。

4日間の生徒の活動を通して、修学旅行の目的である上記4点から評価すると、計画から実行、まとめまでしっかりとした活動が行われ、大きな怪我や病気がなく無事に帰着できたことが何よりでした。全活動を通して、グループの仲間と迷いながらも見て歩いた多くの歴史的建造物や地域の人々との出会い・ふれあい、多くの班が昼食場所に選んだラッキーピエロでの昼食、ホテルでのレクは想像を超え楽しく盛り上がった有志によるパフォーマンスと教師集団のパフォーマンス。最初は怖がっていたけれど終えてみると楽しかった・またやってみたいと感想を述べていた尻別川でのラフティング。ラフティングでは、事前に説明されたマナーや決まりをしっかりと守り行動しました。雨の中、乗り物に興じたルスツリゾートもびしょ濡れになりましたが楽しく・ちょっぴり苦い思い出となりました。16日に行われた解団式では、楽しかった修学旅行を振り返り、悪かった点は反省しこれからの学校生活に生かしますと感想を述べた学級代表の生徒たち。

多くの成果を上げて修学旅行は終了しました。私も素晴らしい4日間を生徒と共に過ごしました。この修学旅行。いろいろな説があるようですが、何故か日本だけの伝統行事のようです。

3年生は、休む間もなく次の行事である体育祭の成功に向けて、連日、練習に打ち込みました。練習段階でも、リレーや長縄跳びは全員が真剣に走り、跳んでいました。本番である25日は、ぐずついた天候と強風に悩まされながらも盛会のうちに終了しました。こちらは、観ているものに感動を与える素晴らしい参加姿勢と態度でした。何よりも全員が目標を一つに個人・学年・全校生徒が一生懸命に参加する姿が立派でした。こちらでも目的を達成し大成功に終わることができました。子ども達は、いろいろな行事を通して成功体験と失敗体験を繰り返しながら成長を遂げています。きっと1年後には、自身の成長が実感できる事でしょう。ちなみに今年度の重点目標は「生徒一人一人が自らの育ちを実感できる教育活動の充実」です。改めて保護者・地域の皆様には子ども達の成長を励まし、見守り下さいますようお願いいたします。